

島立地区

令和5年度

推進交付金：600,000円

取組み1 島立地区高齢者支え合い事業

島立地区町会連合会

1 目的

地域包括ケアシステムの構築に向け、地域ケア会議を開催しながら住み慣れた地域や家で暮らし続けることができるよう高齢者の生活支援を行うものです。

2 島立買い物乗合タクシー

- (1) 対象者 65歳以上（一人または夫婦二人暮らしで自ら自家用車を運転できない者）
- (2) 運行期間 4月から3月（毎週木曜日）
- (3) 運行経路 自宅 ⇄ スーパー（ツルやなぎさ店・西友笹部店）
- (4) 利用料金 500円／一人（往復）
- (5) 運行业者 相互第一交通株式会社
- (6) 運行主体 島立地区町会連合会
- (7) 運行状況 延べ91回、144人



3 地域ケア会議

地域ケア会議の開催により、地域課題の掘り起こしと共有化を図りました。

- (1) 日時 2月29日 午後1時30分から
- (2) 会場 島立公民館
- (3) 講師 笹賀地区地域づくりセンター長 中原 和彦 氏
島内地区福祉ひろば 市川 由美子 氏
- (4) 演題 高齢者の移動手段
- (5) 参加者 63名

4 今後の展開

地域課題の共有化により取り組み始めた、「島立買い物乗合タクシー」に続き、福祉ひろば、公民館への送迎支援に向けて、ケア会議を開催した。

これを受け、令和6年度に事業化に向けた取り組みを進めるものです。



取組み2 島立地区自然体験学習事業

～豊かな自然に恵まれて地域～ 自然体験学習

(1) 目的

小学生を中心に参加者を募集し、体験学習を通じて自然や地域の歴史文化を地域の人から楽しく学ぶことにより、自然・人・物との共生、命の大切さ、慈しみや心豊かな感性と愛着心を育みます。

(2) 取組み

第1回 大町市宮の森自然園 自然観察 令和5年8月6日(日)



第2回 かまばの森で遊ぼう♪ 令和5年10月22日(日)



第3回 三九郎とまゆ玉づくり体験 令和5年11月26日(日)



第4回 島立の神社&炊き出し体験 令和6年3月26日(火)



(3) 今後の展開

ア 運営体制の構成において、例年有志の保護者が核となって進めているため、活動の継続性に引き続き課題があります。保護者、学校や地区団体に対してより一層この活動に対する理解求め、連携を図る必要がある。

イ 今年度はまだコロナ禍の影響もあり、例年通り市外へ移動しての自然体験学習とはいかず、地区内の歴史や文化、伝統行事や昔ながらの遊びを体験しました。次年度も地区全体で子どもを育てる環境づくり、世代を超えた交流を計画していきたい。

取組み3 島立地域教育事業

島立・地域は一つ家族（寺子屋・大庭未来塾）

1 目的

学校以外の環境において、様々な体験活動を行う中で、五感をもって体感し、課題などに「なぜ」という疑問、その先を考える力等を学ぶ意欲を培えることを目的にしている。

今年度も、稲作・野菜づくりの「親子農園」とチャレンジ教室も取り入れてサマースクールを実施した。

2 取組み

(1) 親子農園（通年）

- ア 田植えから脱穀まで年間を通じて稲作に取り組む。
- イ 収穫したコシヒカリを参加家庭に配付
- ウ 焼き芋会の開催

(2) サマースクール（8月1日～5日）

- ア 夏休み宿題帳の学習

イ チャレンジ教室

理科実験、キッズサポーターの誕生、正しいラジオ体操、思いやりのマナー、七夕飾りづくり、本物の味（日本そば）



3 今後の展開

活動を通して、協力、工夫、気づき、諦めない等、多くのことを育むことができた。家庭教育、地域教育において、「当たり前のことを当たり前に行う」事が社会的視野を養う事に通じる。

子ども達を取り巻く環境は、核家族化、居場所づくり、教員の過重負担など多くの課題がある。地域が積極的に子育て支援に加わり人間形成にも取り組んでいきたい。